

三天使の使命と信仰による義認

黙示録 14:6-12

黙示録 14:6

- ・永遠の福音
- ・信仰による義認

1 SM372 「数名の人たちから手紙で、信仰による義認の使命は第三天使の使命ですか、と尋ねてきた。わたしは『それは第三天使の使命そのものです』と答えた。」

1. ローマ書に説明を求めよう。

福音とは何か？

ローマ 1:16 わたしは福音を恥としない。それは、ユダヤ人をはじめ、ギリシヤ人にも、すべて信じる者に、救を得させる神の力である。

何からの救いか？

マタイ 1:21「その名をイエスと名づけなさい。彼は、おのれの民をそのもろもろの罪から救う者となるからである」。

黙示録 1:5,6「わたしたちを愛し、その血によってわたしたちを罪から解放し、わたしたちを、その父なる神のために、御国の民とし、祭司として下さったかたに、世々限りなく栄光と権力とがあるように、アアメン」

福音の中に何が啓示されているか？

ローマ 1:17 神の義(信じる者を義とする)は、その福音の中に啓示され、信仰に始まり信仰に至らせる。これは、「信仰による義人は生きる」と書いてあるとおりでである。

イエスを信じる者を義とする、信仰は必ず悔い改めと一緒。

使徒 20:21 ユダヤ人にもギリシヤ人にも、神に対する悔改めと、わたしたちの主イエスに対する信仰とを、強く勧めてきたのである。

※言い換えると、ごめんなさいとありがとう(信じて受け入れ感謝する)である。

福音は、ローマ書にどのように説かれているか？

ローマ書 1章~3章は、徹底的人間の墮落と無能力、罪深さを描写している。

「義人はいない、ひとりもない。悟りのある人はいない、神を求める人はいない。すべての人は迷い出て、ことごとく無益なものになっている。善を行う者はいない、ひとりもない」

エレミヤ 13:23「エチオピヤびとはその皮膚を変えることができようか。ひょうはその斑点を変えることができようか。もしそれができるならば、悪に慣れたあなたがたも、善を行うことができる」

では、どうして人は神に受け入れられるのか?義とされるのか?

- ・行いの法則によるのではない! 3:27

1. 無償で与えられる神の義

- ・信仰の法則によって義とされる。3:22,26,27 アブラハムの例:無から有を呼び出される神を信じた。4:17~。

- ・恵みの法則によって義認される。

ローマ 3:23,24 価なしに、神の恵みによって。

5:20 罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた。

「さらに豊かに」「満ち溢れる」「あふれるばかりの恵み」 15~21

- ・「ゆるしと義認は一つである」 Faith and Works 103

義認=ゆるし、なんというありがたい賜物!

チャート1.

2. 罪からの解放

では、信仰によって赦されたからといって律法を無効にするか?「断じてそうではない!」3:31

恵みによって赦されたからといって罪にとどまるか?「断じてそうではない!」

- ・罪に死ぬ
- ・罪から解放される
- ・自我に死ぬ

例：マタイ 18:23~一万タラントの負債を免じられた人、自分に100デナリの借金のある人をゆるさなかった。

3. 御霊の法則によって服従 ローマ 8:1~8

- ・8:3 肉=生来の罪深い性質は、無力、律法に、神に従い得ない。
- ・罪の肉の形でイエスは、天父に服従、律法に服従。
 - ・肉の生活の時には天父に対する信仰によって服従。ヘブル 5:7、8、信仰によって義とされた！
 - ・わたし自身から何一つできない。ヨハネ 5:30
 - ・霊によって義とされた。1テモテ 3:16
- ・8:4 我々も肉によらず霊によって服従、律法と調和する生活。

神に①無償で義認=ゆるされた者は、②罪から離れ、③服従するようにされる。

この信仰による義認の経験は、人に大きな変化をもたらす(大争闘下 196)。変化をもたらさないとすれば、間違った教えで、間違った経験をしている！ そういう人は、一万タラントの借金をゆるされたのに、自分に100デナリの借金をしている人を赦さなかった人と同じ。

契約の虹 139 ゆるすためです

2. 三天使の使命とローマ書

- ① 黙示録 14:12 ここに、神の戒めを守り(服従)、イエスを信じる信仰(イエスの信仰-欽定訳)を持ちつづける聖徒の忍耐がある。
- ② ローマ書 1:5 信仰の従順(服従)→16:25 信仰の従順(服従)
- ③ 黙示録 14:7 創造主をおそれ、神に栄光を帰せよ！
- ④ ローマ 4:4:17-24 アブラハム-創造主を信じ、義認され、神に栄光を帰した。
- ⑤ 結局、創造主のみが信じる者を義認、ゆるすことができる！人間法王を信じるな!=これが三天使の使命
- ⑥ 三天使の使命は信仰による義認そのものである！
- ⑦ 真の信仰による義認の経験は、
 - ・1ヨハネ 5:3 神を愛するとは、すなわち、その戒めを守ることであり、その戒めはむずかしいものではない。
 - ・ガラテヤ 5:6 尊いのは、愛によって働く(行い) 信仰だけである。
 - ・詩篇 119:167 わが魂は、あなたのあかしを守ります。わたしはいたくこれを愛します。
 - ・119:163 あなたのおきてを愛します。

3. 至聖所の裁きにおいて信仰による義認の成就を求めるイエス

「仲保者イエスは、彼の血を信じる信仰によって勝利したものがみな、その罪を許され、再びエデンの家郷にもどって『以前の主権』を彼とともに継ぐ者となるように、嘆願されるのである(ミカ 4:8)。…キリストは、ご自分の民のために、完全で十分な許しと義認(full and complete)だけでなく、彼らが、ご自分の栄光にあずかり、ともにみ座につくことを求められるのである」大争闘下 216

大争闘下 221 聖潔の完成！

大争闘下 141 主を迎える準備ができる！

・チャート 2, 3

黙示録 14:12 ここに、神の戒めを守り(服従)、イエスを信じる信仰(イエスの信仰-欽定訳)を持ちつづける聖徒の忍耐がある。